

医療費分析結果報告書（概要）

- 平成30年度 -

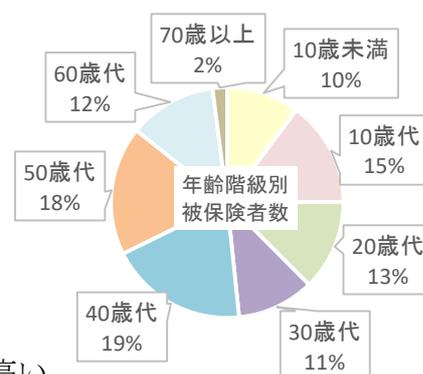
【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は407,635人であり、前年度に比べて0.76%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は0.80%であった。家族数は△2.59%と依然として減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が+1.31%、被扶養者数が△1.35%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、40歳代が19.29%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、前年度と同様に45歳以降はすべての年代で全国土木が高くなっている。



○平均年齢は、37.2歳（組合員45.8歳、家族29.5歳）である。

（2頁表-3）

組合健保の平均年齢は35.1歳であり、全国土木が2.1歳高い。

○前期高齢者は27,188人であり、前年度に比べて4.96%増加し、加入率は6.67%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.28%であり、全国土木が3.39ポイント高い。

○扶養率は1.12人で、前年度に比べて3.55%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.76人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が86.3%と高いこと、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることである。

【2 医療費の状況】

○総医療費は約734億円であり、前年度に比べて0.34%減少している。診療区分別では、医科入院外が41.21%と最多であり、組合員・家族別にみると、家族（51.18%）が組合員（48.82%）より2.36ポイント高い。（6頁表-7、7頁図-10）

医療費の伸びがマイナスとなるのは、平成25年度以来5年ぶりとなる。

○1人当たり医療費は増加傾向であり、前年度に比べて0.43%増加している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（8頁表-9、15頁表-15）※合計には訪問看護療養費を含む

区分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
平成30年度	180,084円	50,146円	73,458円	20,360円	35,614円	109,072円
平成29年度	179,311円	50,001円	72,744円	20,000円	36,061円	108,805円
増減額	773円	145円	714円	360円	△447円	267円
増減率	0.43%	0.29%	0.98%	1.80%	△1.24%	0.25%

○平成29年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が23,804円（15.31%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は1,469円（0.94%）となる。

（9頁表-10）※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から平成29年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差(率)	全国土木	組合健保	差(率)
179,311円	155,507円	23,804円(15.31%)	156,976円	155,507円	1,469円(0.94%)

○ジェネリック医薬品（調剤診療分）の使用割合は、平成31年3月診療分で78.6%となっている。（33頁図-53）

平成30年度の使用割合が100%であった場合、約10.4億円の組合負担額の削減が見込まれる。なお、医科診療分を含めた使用割合は、平成31年3月診療分で75.7%となっている。

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員は「循環器系の疾患」（27.6億円）、家族は「新生物」（21.8億円）が最も高く、入院外では組合員は「循環器系の疾患」（22.2億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（29.5億円）が最も高い。（34頁表-32～38頁表-36）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区分	入院			入院外		
	年齢階級	疾病分類	金額	年齢階級	疾病分類	金額
組合員	60歳～64歳	新生物	6.9億円	60歳～64歳	循環器系の疾患	5.5億円
家族	0歳～4歳	周産期に発生した病態	6.7億円	0歳～4歳	呼吸器系の疾患	8.7億円

○平成29年度の疾病分類別1人当たり医療費は、①新生物（20,954円）、②循環器系の疾患（17,588円）、③呼吸器系の疾患（12,544円）の順に高い。（39頁表-37）

組合健保と比較し全国土木との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除いて比較すると次表のとおりである。

区分	疾病分類	1人当たり医療費			年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
入院	新生物	12,084円	8,639円	3,445円(39.89%)	9,434円	8,639円	795円(9.21%)
入院外	循環器系の疾患	8,014円	4,660円	3,354円(71.96%)	5,886円	4,660円	1,206円(25.88%)

○平成29年度の前期高齢者の疾病分類別1人当たり医療費は、医科入院、医科入院外ともに「循環器系の疾患」（入院49,530円、入院外38,348円）が最も高い。（42頁表-40）

組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入院			疾病分類	入院外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
総数	173,505円	132,495円	41,010円	総数	182,969円	145,852円	37,117円
循環器系の疾患	49,530円	35,300円	14,230円	循環器系の疾患	38,348円	28,296円	10,052円
新生物	47,865円	39,829円	8,036円	新生物	31,093円	24,876円	6,217円
損傷、中毒及びその他の外因の影響	13,073円	9,016円	4,057円	内分泌、栄養及び代謝疾患	25,065円	19,515円	5,550円

○平成29年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新3要素分析をみると、100人当たり新規入院件数は「新生物」（5.12件）が最も多く、1入院当たり医療費は「精神及び行動の障害」（3,609千円）が最も高い。（43頁図-63）

各要素において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	100人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	5.12件	3.91件	1.21件	精神及び行動の障害	243日	169日	74日
循環器系の疾患	3.28件	2.60件	0.68件	神経系の疾患	33日	39日	△6日
消化器系の疾患	2.53件	1.99件	0.54件	新生物	13日	16日	△3日
疾病分類	1入院当たり医療費			疾病分類	1日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
精神及び行動の障害	3,609千円	2,567千円	1,042千円	腎尿路生殖器系の疾患	55,858円	46,452円	9,406円
循環器系の疾患	1,511千円	1,356千円	155千円	新生物	72,104円	64,644円	7,460円
腎尿路生殖器系の疾患	714千円	591千円	123千円	筋骨格系及び結合組織の疾患	64,504円	60,024円	4,480円